

日本ソーシャルデータサイエンス学会「オープンデータ活用部会（仮称）」
設立趣意書

2025年7月6日

1. 趣旨

近年、政府・自治体・企業・研究機関等によるオープンデータの公開が進展し、これらのデータは行政の透明性向上、民間サービスの創出、学術研究の深化において不可欠な資源となっています。一方で、その利活用には一定の専門知識が求められるほか、データ形式や品質のばらつき、継続性の課題なども指摘されています。

本部会は、こうした状況を踏まえ、ソーシャルデータに関心を持つ研究者・実務者・学生などが、オープンデータの収集・解析・活用方法について実践的に学び合い、共に取り組む場を提供することを目的として設立するものです。

2. 活動内容案

部会専用のサーバー等を機軸に、以下のような活動を予定しています。

- 国内外のオープンデータ（例：人口、交通、気象、災害、SNS データ等）の調査および共有、活用ガイドラインの作成
- 共有したデータセットを対象とした共同分析
- AI 等を活用する最新の分析手法の実践
- ワークショップやデータチャレンジの企画・開催
- 他部会・他学会との連携による共同研究の模索
- オープンデータの利活用に関する政策提言や教育的活動の推進

3. 対象とする参加者

オープンデータを利活用している、または関心のある研究者・学生・企業関係者・自治体職員・市民団体メンバーなど 10 名程度。学会員以外も対象にする。

4. 設立発起人

伊藤貢司 桜美林大学航空学群教授

〒206-0033 東京都多摩市落合 2-31-1

多摩アカデミーヒルズ内 フライト トレーニングセンター

5. 発足時部会員

水野信也 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科教授

大場春佳 中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科助教

以上